Panasonic®

取扱説明書

ホームシアターオーディオシステム

品番　SC-HTF5



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

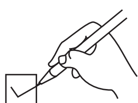
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（➔ 19 ～ 21 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書、組み立て説明書とともに大切に保管してください。

HDMI　VIERA Link

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください。
（→ 19 ～ 21 ページ）

付属品

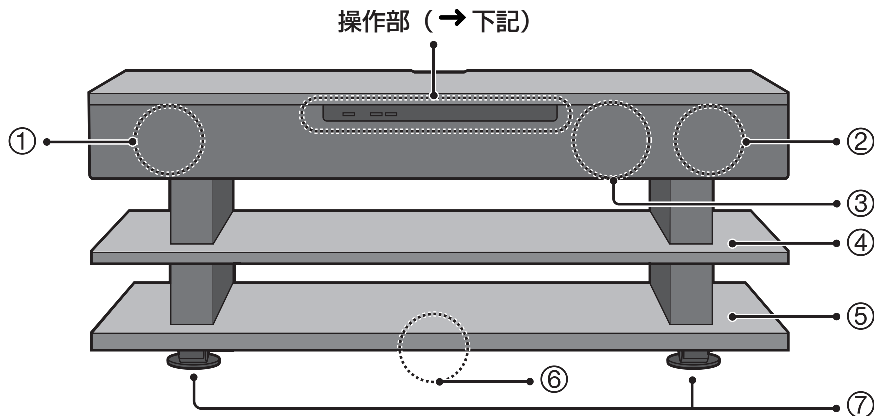


- かっこ【　】内は、2010 年 6 月現在の品番です。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

- □ 転倒防止ねじ（1 本）【XTW4+16JFJK】
- □ キャスター座（4 個）【TBLB3008】
- □ HDMI ケーブル（1 本）（1.5 m）【K1HA19CY0001】
- □ 電源コード（1 本）【K2CA2CA00024】
- □ リモコン（1 個）【N2QAYC000029】
  - お買い上げ時は、コイン電池が入っています。

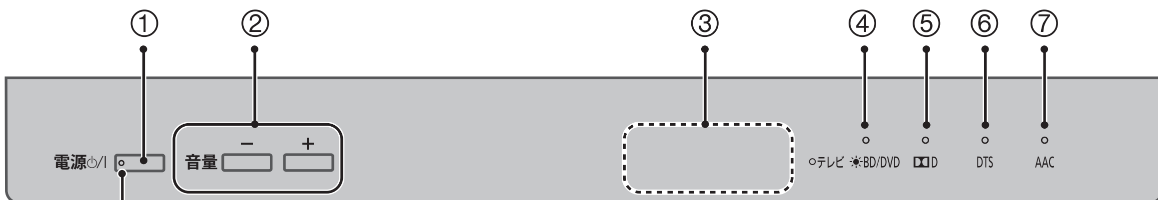
各部のはたらき

本体（ラック） 前面



① フロントスピーカー（左）
② フロントスピーカー（右）
③ サブウーハー
④ 上段（棚板）
⑤ 下段（底板）
⑥ キャスター（底面中央）
⑦ キャスター / キャスター座

操作部



① 電源を「入 / 切」する（➜ 11 ページ）
- 電源「入」時は、[電源 ⏻/I] ランプが点灯します。

② 音量を調整する（➜ 11 ページ）

③ リモコン受信部（商品品番の右横）
受信範囲　正面……約 7 m 以内
　　　　　左右……各約 30°

ランプ（以下の場合に点灯します。）

④ 選択している入力を表示
消灯……… [テレビ] 入力が選択されている時
点灯……… [BD/DVD] 入力が選択されている時

⑤ ドルビーデジタルの音声信号入力時に約 4 秒間点灯※

⑥ DTS の音声信号入力時に約 4 秒間点灯※

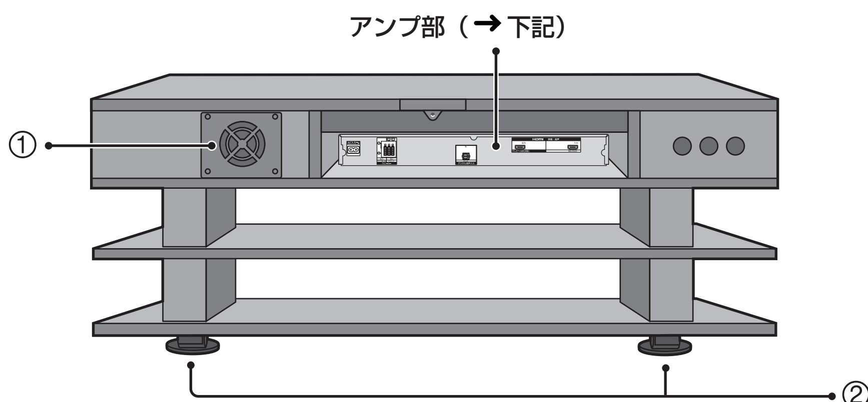
⑦ AAC の音声信号入力時に約 4 秒間点灯※

※：⑤ 〜 ⑦ を再生中に確認するには、17 ページ「本システムで再生できるデジタル信号」の「お知らせ」をご覧ください。

お知らせ

⑤ 〜 ⑦ のランプは、音量とサブウーハーレベル操作時に点滅します。

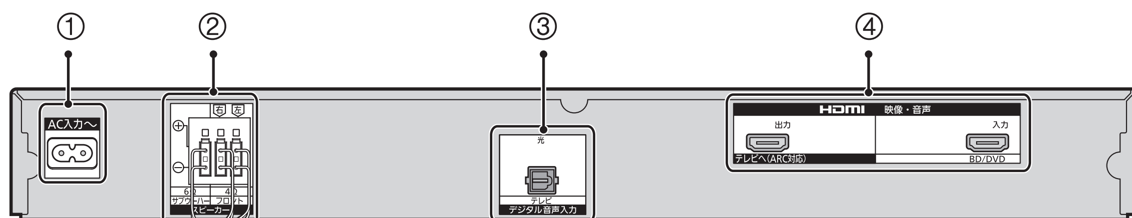
本体（ラック） 後面



① サブウーハー

② キャスター / キャスター座

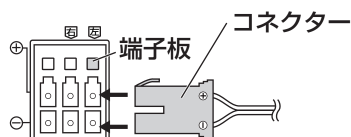
アンプ部



① **電源（AC 入力〜）**（➔ 10 ページ）

② **スピーカー端子**

コネクターがはずれた場合などは、下図を参考に接続してください。

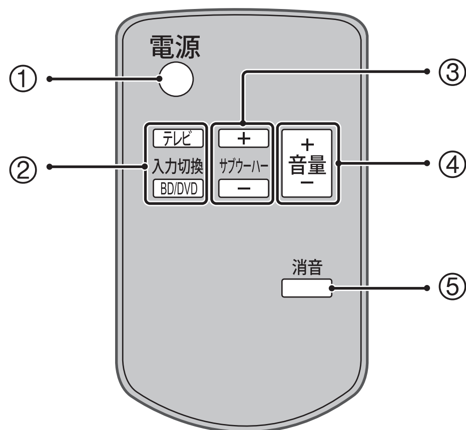


コネクターの色と端子板の色を合わせて、まっすぐ奥まで差し込む。

③ **光デジタル音声入力端子**（➔ 10 ページ）

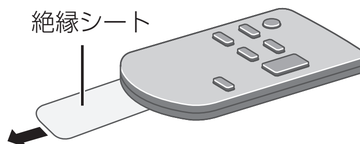
④ **HDMI 映像・音声端子**（➔ 10 ページ）

リモコン（本書ではリモコンでの操作を中心に説明しています。）



① 本システムの電源を「入 / 切」する
② 入力を切り換える
テレビ ……テレビを使う
BD/DVD…BD/DVD 端子に接続した機器を使う
③ サブウーハーレベル（低音）を調整する
④ 音量を調整する
⑤ 一時的に音を消す

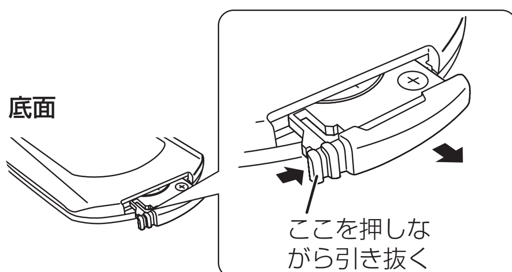
絶縁シートを引き抜いてからお使いください。



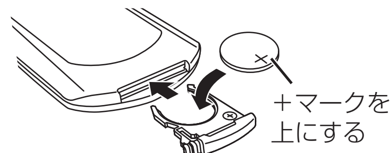
絶縁シートは引き抜いたあと、適切に処理をしてください。

■ **コイン電池を交換する**

① ホルダーを引き抜く



② 電池を入れてホルダーを戻す



お知らせ

本体の近くで操作しても動作しない場合は、新しいコイン電池（CR2025）と交換してください。（電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約 1 年です。）

別売品のご紹介

ケーブル名	長さ	品　番	ケーブル名	長さ	品　番
HDMI ケーブル	(1.0 m) (1.5 m) (2.0 m) (3.0 m)	RP-CDHS10 RP-CDHS15 RP-CDHS20 RP-CDHS30	光デジタルケーブル	(0.5 m) (1.0 m) (1.5 m) (2.0 m) (3.0 m)	RP-CA2005 RP-CA2010 RP-CA2015 RP-CA2020 RP-CA2030

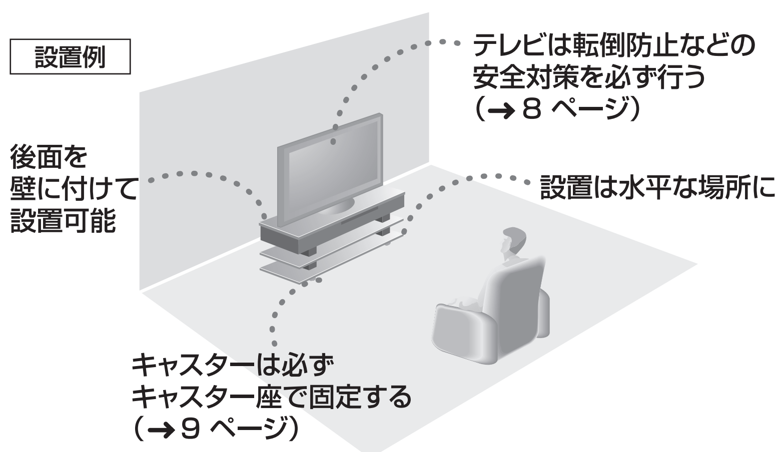
ケーブル類は、置きかたや接続方法などにより、必要な長さが異なります。ご購入の際は、長さを十分確認してください。2010 年 6 月現在の品番です。



ラックの設置と取り付け

設置について

- 組み立てについては、別冊の「組み立て説明書」をご覧ください。
- ラックを動かす作業は、2 人以上で行ってください。
- プラスドライバーを用意してください。（電動ドライバーは使用しないでください。）
- 不安定な場所を避けて、水平な場所に設置してください。



お知らせ

- 設置機器の奥行きや接続ケーブルの種類によっては、壁付けができない場合があります。
- 床材の素材によっては、キャスターの回転跡が残る場合があります。
- 柔らかい床材（畳、毛足の長いじゅうたんなど）の上では、キャスターを外してください。（➔ 7ページ）
- 接続した機器の排気孔などをふさがないように、カーテンなどの前に置くときは注意してください。

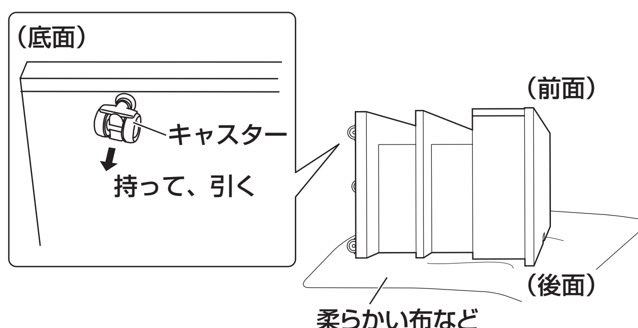
ラックの持ち上げかた

本体部の底面に手を入れ、左右の手で水平になるように持ち上げる。



キャスターを取り外す場合（完成後）

- 床に柔らかい布などを敷き、後面側に倒して、取り外してください。
- 作業時には、ラックの上や中には何も置かないでください。（アンプ部やスピーカー部は固定されていますので、取り外す必要はありません。）
- 手や足をはさまないようにご注意ください。（起こしかたは、別冊の「組み立て説明書」の５ページを参照してください。）

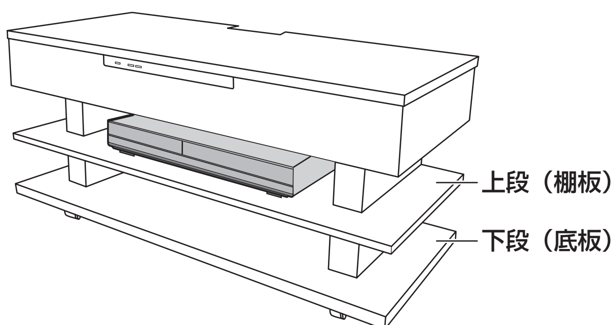


棚板に収納する機器について

機器を設置した後、接続する。

（棚板、底板とも）
機器収納部幅：　　730 mm
機器収納部高さ：　113 mm
機器収納部奥行き：335 mm

設置例



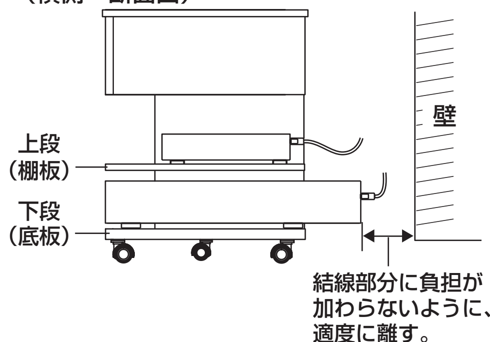
お知らせ

- 収納部の上段（棚板）と下段（底板）には、12 kg を超える機器を設置しないでください。
- 本システムと各機器の接続については、10 ページをご覧ください。
- 録画機器を上段（棚板）に載せると、映像に障害が出る場合があります。その場合は、下段（底板）に設置してください。

■ 奥行きの長い製品を設置する場合

- 壁際などに設置し、背面部の結線部分が壁面に触れ、線材や機器に負担が加わり、故障や動作不良の原因になる場合があります。
  右図のように設置機器の結線部分に負担が加わらないように壁から離して設置してください。ラック移動の際には配線材に負担が加わらないようにご注意ください。

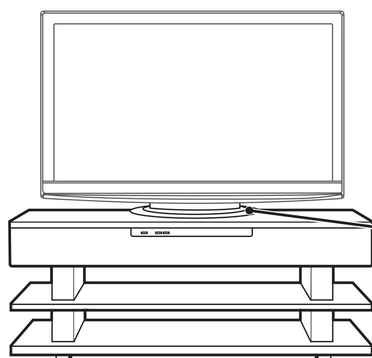
（横側　断面図）



ラックの設置と取り付け（つづき）

テレビの設置（テレビの取扱説明書もご覧ください。）

推奨画面サイズ　42V 型以下



据置きスタンドをラック天板の中央に設置する。

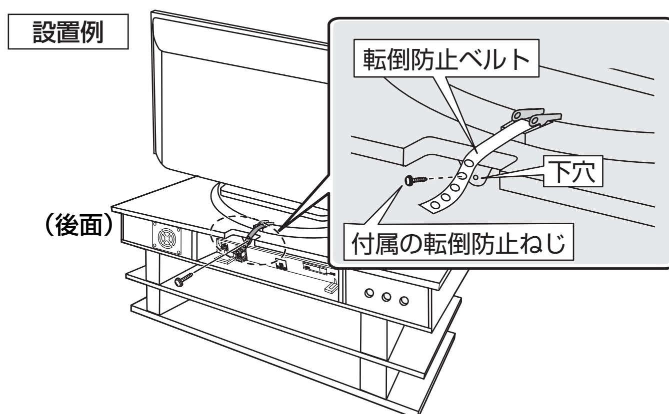
お知らせ

- 天板には 60 kg を超える機器を設置しないでください。
- テレビは持ち上げて移動してください。引きずるとラックの天板を傷つけることがあります。（持ちかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。）
- 回転機能付きの据置きスタンドは、回転してもテレビが壁に当たらないように壁から離して設置してください。
- 回転機能付きの据置きスタンドの場合、回転時にラックの天面部からはみ出すと指をはさみ込む危険がありますので、ご注意ください。
- 本システムは防磁設計ではありません。ブラウン管テレビを設置しないでください。
- 本システムの天板の上にはテレビ以外は置かないでください。特に次のような物は置かないでください。
  - 熱いものを置くと、跡が付いて取れなくなる場合があります。
  - 水の入った花瓶などを置くと、倒れた際に水が本システムにかかり故障の原因になります。

テレビの転倒防止について

■ ラックへの固定

- **必ず本システムに付属の転倒防止ねじで**、転倒防止ベルト（テレビに付属）を下図のように取り付けてください。



お知らせ

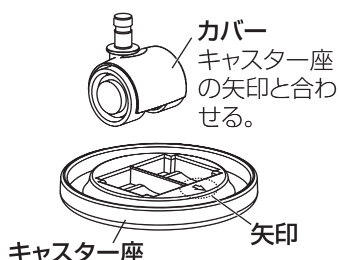
- 転倒防止ベルトがテレビに付属していない場合は、市販のベルトで固定してください。
- 強く締めすぎると、空回りして固定できなくなります。
- テレビ側の取り付けは、テレビの取扱説明書に従ってください。

■ 壁面への固定

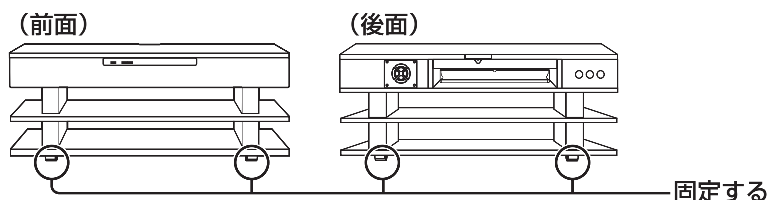
- テレビの取扱説明書に従ってください。
- 壁や柱の材質に適した市販のねじ、丈夫なひも、または鎖などでしっかりと取り付けてください。
- 壁や柱にはテレビの重量を支えられる強度が必要です。詳しくは、専門業者などにご相談ください。

キャスターを固定する

中央のキャスターを除くキャスター（4 個）の下にキャスター座を敷いて、固定する。



■ 固定するキャスター



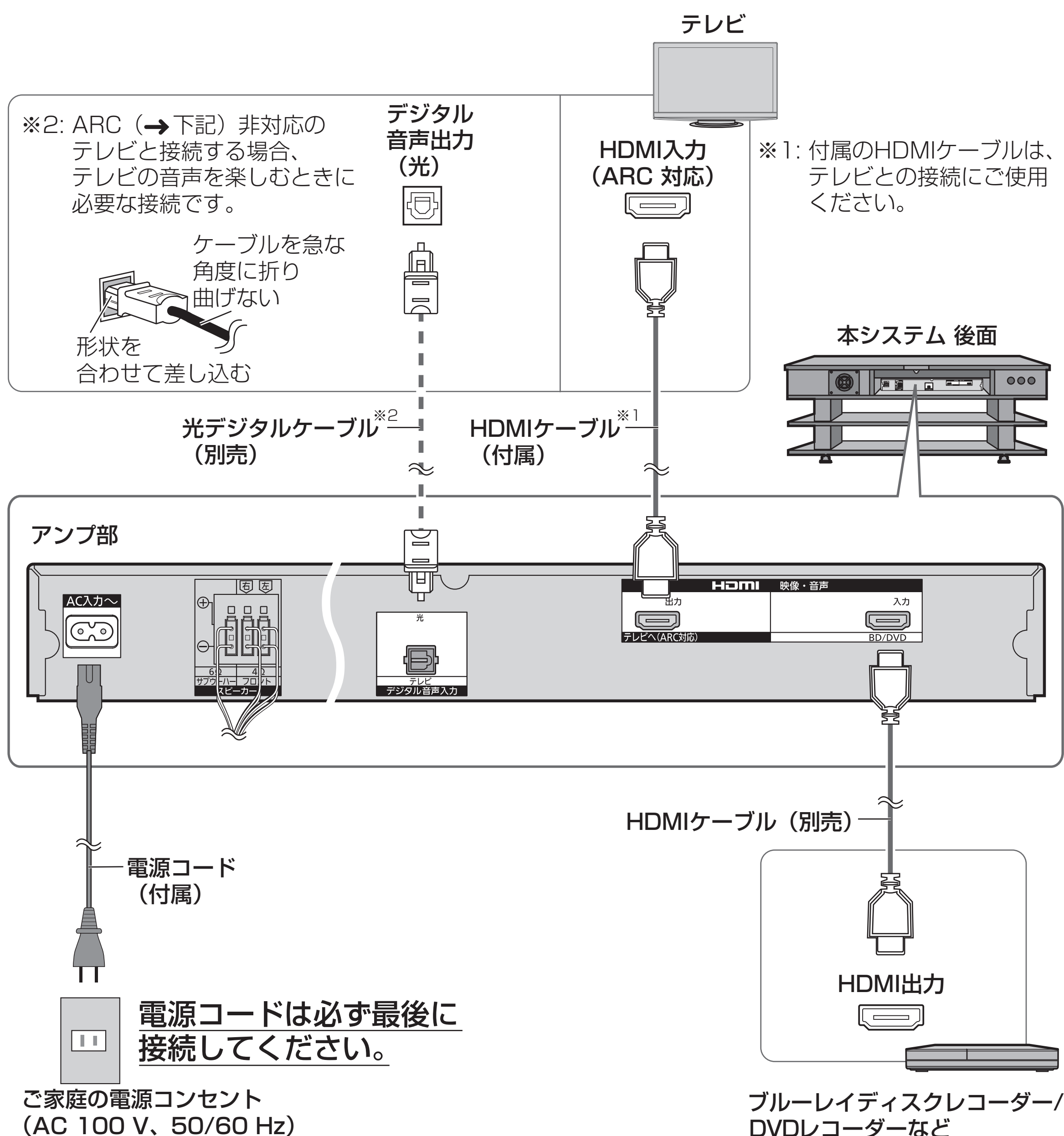
- キャスター座がはみ出さないように、前面側のキャスターを内向きに設置してください。



- 作業中に指をはさまないようにご注意ください。
- ラックの持ち上げかたについては、6 ページをご覧ください。

接続する

- 接続するときは、各機器の電源を切ってください。
- 接続する各機器の取扱説明書もご覧ください。



電源コードは必ず最後に接続してください。

ご家庭の電源コンセント
（AC 100 V、50/60 Hz）

ブルーレイディスクレコーダー/
DVDレコーダーなど

お知らせ

電源プラグをコンセントに接続した状態で、本システムとすべての接続機器の電源が切れているときは、約 0.05 W の電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため抜いておくことをおすすめします。
電源プラグを抜くときは、必ず本システムの電源を切ってから抜いてください。

■ 付属以外の HDMI ケーブルをご使用される場合

- 当社製 HDMI ケーブルを推奨します。
  品番： RP-CDHS10 (1.0 m)、RP-CDHS15 (1.5 m)、RP-CDHS20 (2.0 m)、RP-CDHS30 (3.0 m) など
- HDMI ロゴ（➜ 表紙）のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。

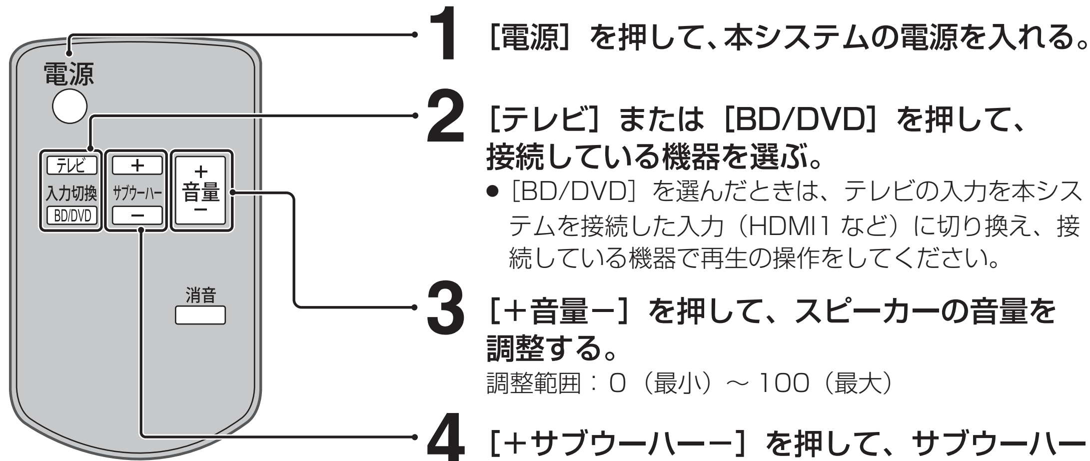
■ ARC（Audio Return Channel（オーディオ リターン チャンネル））について

HDMI Ver.1.4 で新たに追加された機能です。
テレビなどの HDMI 入力端子から本システムの HDMI 出力端子にデジタル音声信号を送ります。

- 付属の HDMI ケーブルは、ARC 対応です。
- 接続するテレビの ARC 対応 / 非対応についてはテレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビや映画、音楽を楽しむ

準備：テレビの電源を入れ、テレビの音量を“0”（ゼロ）にする。



1 **［電源］を押して、本システムの電源を入れる。**

2 **［テレビ］または［BD/DVD］を押して、接続している機器を選ぶ。**

- ［BD/DVD］を選んだときは、テレビの入力を本システムを接続した入力（HDMI1 など）に切り換え、接続している機器で再生の操作をしてください。

3 **［＋音量－］を押して、スピーカーの音量を調整する。**

調整範囲：0（最小）～ 100（最大）

4 **［＋サブウーハー－］を押して、サブウーハーのレベル（低音）を調整する。**

- 押すごとに切り換わります。

調整範囲：4 段階

本システムの電源を切るときは、なるべく音量を下げてから電源をお切りください。

お知らせ

- 音量とサブウーハーレベルの操作時には、本体操作部のランプが、「左から右」（＋）または「右から左」（－）に点滅します（➔ 3 ページ）。調整範囲の値が、最小または最大になったときは、ボタンを押してもランプは点滅しません。
- 本システムでは音量値表示はされません。シアターの音量値表示に対応した当社製テレビ（ビエラ）と組み合わせた場合には、テレビ画面に音量値が表示されます（➔ 13 ページ）。
- BD/DVD 端子に接続した機器を再生中に、入力を［テレビ］に切り換えても、BD/DVD 端子に接続した機器の映像（または音声）が［HDMI 出力 テレビへ（ARC 対応）］端子から出力されます。
- 本システムの電源が切れていても、BD/DVD 端子に接続した映像や音声が本システムを通過して、［HDMI 出力 テレビへ（ARC 対応）］端子に接続されたテレビへ伝送されます。**（スタンバイスルー機能）**

■ 一時的に音を消すには

［消音］を押す

- 消音中は、すべてのランプ（［電源 ⏻/I］ランプを除く）が点滅します。
- もう一度［消音］を押すと、消音が解除されます。

お知らせ

消音は音量と電源の操作、電源コードの抜き差しでも解除されます。

音場効果について

本システムでは、お買い上げの状態で下記の音場効果が楽しめます。

■ ドルビーバーチャルスピーカー

サラウンドスピーカーを接続しなくても、5.1 チャンネルシステムで聞いているような立体的な仮想サラウンドを楽しめます。

お知らせ

効果の「切 / 入」ができます。

1. **リモコンの［消音］を 2 秒以上押したままにする。（現在の状態を表示）**
2. **現在の状態が表示中に（約 10 秒間）［消音］を再度押す。**

［D］ランプが点滅：入
［AAC］ランプが点滅：切

- 押すごとに設定が切り換わります。
- 操作後約 10 秒で通常の表示に戻ります。
- 2 チャンネル入力時に「切」に設定しても、その後マルチチャンネルが入力されると「入」になります。

■ 明瞭ボイス

テレビドラマや野球解説などの音声を聞き取りやすくし、またテレビ画面の方向から音が聞こえてくるような効果が楽しめます。

お知らせ

効果の「切 / 入」ができます。

1. **リモコンの［テレビ］を 2 秒以上押したままにする。（現在の状態を表示）**
2. **現在の状態が表示中に（約 10 秒間）［テレビ］を再度押す。**

［D］ランプが点滅：入
［AAC］ランプが点滅：切

- 押すごとに設定が切り換わります。
- 操作後約 10 秒で通常の表示に戻ります。
- 「切」に設定した後、電源を「切 / 入」すると「入」になります。

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは
本システムと HDMI ケーブル（付属または別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1 つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。

お知らせ

- ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本システムはビエラリンク（HDMI）Ver.5 に対応しています。
ビエラリンク（HDMI）Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。（2010 年 6 月現在）
- お使いのテレビ（ビエラ）がビエラリンク（HDMI）対応か分からないときは、機器にビエラリンク（HDMI）のロゴマーク（表紙）が付いているかお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

接続

本システムとビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）とレコーダー（ディーガ）を HDMI ケーブルで接続する。
・HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
・接続については 10 ページをご覧ください。

準備

① テレビ（ビエラ）の設定を以下のように変更する。
（機器により表示が異なる場合があります。）
- 「電源オン時の音声出力」を「シアター（AV アンプ）」にする。
- 「音声をシアター（AV アンプ）から出す」を選ぶ。
- 「サウンドモード」を「オート」にする。

② すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を「切 / 入」する。
③ 本システムを接続した HDMI 端子にテレビ（ビエラ）の入力を切り換える。
④ 本システムの入力を［BD/DVD］に切り換え、画像が正しく映ることを確認する。

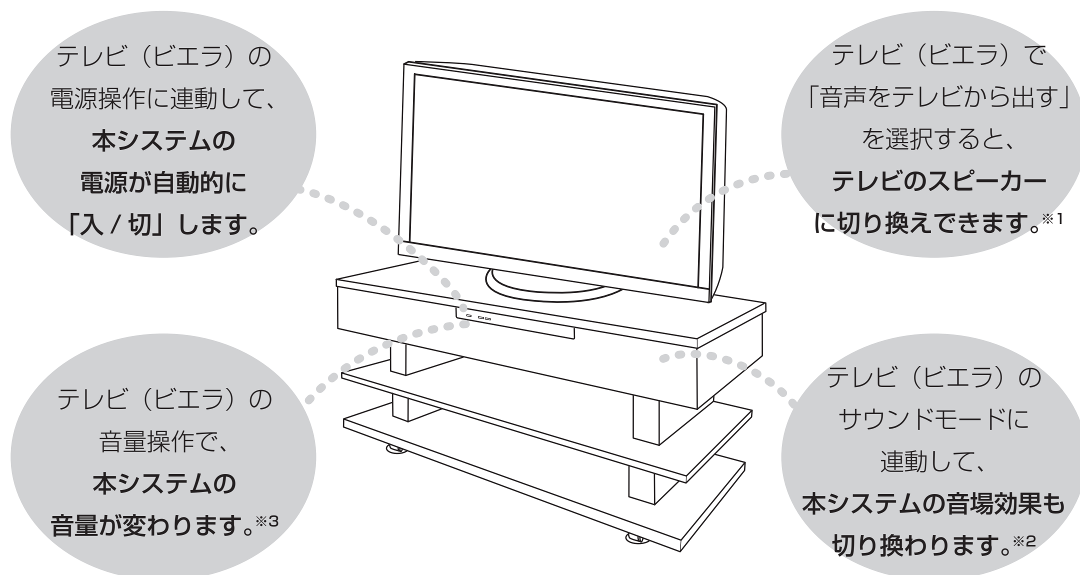
お知らせ

- 各機器がビエラリンク（HDMI）を働かせる設定になっているか確認してください。
- 機器を追加したときや接続し直したとき、工場出荷設定に戻したとき（➜ 14 ページ）にも「準備」の操作を行ってください。

ビエラリンク（HDMI）でできること テレビ（ビエラ）のリモコンで行う操作です

必ず 12 ページの「準備」を先に行ってください。
本リモコンの電源ボタンで電源を入れずに、テレビ(ビエラ)のリモコンで「音声をシアター(AVアンプ)から出す」を選択してください。(本システムの電源が自動的に入ります。)

• **テレビによって、操作は異なります。詳しくはテレビ（ビエラ）の取扱説明書をご覧ください。**



※１： ビエラリンク（HDMI）Ver.4 以降に対応の当社製テレビ（ビエラ）との組み合わせの場合は、自動的に本システムの電源を切る設定ができます。（こまめにオフ機能）
※２： ビエラリンク（HDMI）Ver.3 以降に対応の当社製テレビ（ビエラ）との組み合わせの場合、番組や放送内容に応じてサウンドモードを自動で切り換えることができます。（番組ぴったりサウンド（オートサウンド連携））
※３： ビエラリンク（HDMI）Ver.5 以降に対応の当社製テレビ（ビエラ）との組み合わせの場合は、テレビ画面に音量値が表示されます。

お知らせ

- ビエラリンク（HDMI）対応のレコーダー（ディーガ）も接続している場合、テレビ（ビエラ）の電源操作に連動して、レコーダー（ディーガ）の電源も自動的に「切」になります。
- ビエラリンク（HDMI）Ver.4 以降に対応の当社製テレビ（ビエラ）との組み合わせの場合は、本システムの電源を入れると、テレビ（ビエラ）が「音声をシアター (AV アンプ) から出す」設定になります。
- 番組ぴったりサウンドは、以下の場合に働きます。
  - ビエラリンク（HDMI）対応の接続機器でデジタル放送の番組を視聴中または再生中、DVD、CD、SD などを再生中。
    - 自動的にサウンドを切り換えるかどうかの設定ができます。
    - 詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- テレビ（ビエラ）のリモコンで、チャンネル選択などの操作を行うと、本システムの入力が［テレビ］に切り換わります。
- BD/DVD 端子に接続した機器を再生すると、本システムの入力が [BD/DVD] に切り換わります。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本システムの設定をお買い上げ時の状態に戻す（工場出荷設定）

電源「入」の状態で、本体の［電源⏻/I］を４秒以上押したままにしてください。本システムのすべてのランプ（［電源⏻/I］ランプを除く）が数回点滅したあと消灯し、お買い上げ時の設定に戻ります。
本システムの動作がおかしいときなどは、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

こんなときは		ここを処置・確認してください	ページ
共通	電源が入らない。	● 電源プラグがコンセントに正しく接続されているか、確認してください。	10
	機器の再生を始めても音や映像が出ない。	● 入力信号を正しく選択してください。 ● 消音を解除してください。 ● 本システムで再生できるデジタル信号か確認してください。 ● 機器が正しく接続されているか確認してください。 ● スピーカー端子にコネクターが正しく接続されているか確認してください。 ●（テレビ音声が聞こえない場合）ARC 非対応のテレビとの接続には光デジタルケーブルが必要です。詳しくは接続するテレビの取扱説明書をご覧ください。 ● 本システムの電源を「切 / 入」してください。 ● スピーカーの音量調整を行ってください。 ● 接続経路に問題がない場合、ケーブルの異常かもしれません。お手持ちの他のケーブルで、再度接続を試みてください。	11 11 17 10 4 10 – 11 –
	リモコンが働かない。	● 電池が消耗している場合は電池を交換してください。 ● 絶縁シートを抜いてからお使いください。 ● 本システムとリモコンでリモコンコードが異なるときは、本システムが操作を受け付けません。その場合は下記項目の操作で本体とリモコンのリモコンコードが同じになるように設定してください。	5 5 下記
	本システムのリモコンで、他の当社製オーディオ製品が動作してしまう。	● 下記の操作を行い、本体とリモコンを「リモコンコード 2」に設定します。 ① 他の当社製オーディオ製品の電源を切ってから、リモコンを本体に向けながら、リモコンの［BD/DVD］を押したまま［消音］を 4 秒以上押したままにする。 ② 本システムのすべてのランプ（［電源⏻/I］ランプを除く）が点滅することを確認する。 – 元に戻す（「リモコンコード 1」にする）場合は、リモコンの［テレビ］を押したまま［消音］を 4 秒以上押したままにしてください。	–
	DTS の音声が出ない。	● 接続している映像機器のデジタル音声出力の設定が、ビットストリームであることを確認してください。	–

	こんなときは	ここを処置・確認してください	ページ
共通	音が出なくなった。 電源が勝手に切れる。 （本システムは異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切ります。）	● アンプの出力異常です。 ● 著しい大音量で聞いていませんか。 ● 異常に暑い場所で使用していませんか。 ⇒ 原因を解消して、しばらく待ってから再び電源を入れてください。（保護回路の動作が解除されます。） ● それでも同じ現象が起こる場合は、電源を切り、電源プラグを抜いたうえで、販売店にご相談ください。 ［電源 ⏻/I］ランプや他のランプが点滅しているときは、そのランプの位置をお知らせください。	− − − −
	［電源 ⏻/I］ランプが点滅し、音が出ない。	● 電源を切り、電源プラグを抜いたうえで、販売店にご相談ください。［電源 ⏻/I］ランプ以外のランプも点滅している場合は、そのランプの位置をお知らせください。	−
	［BD/DVD］ランプが点滅し、音が出ない。	● HDMI 接続で異常があります。以下の処置をしてください。 それでも直らないときは、販売店にご相談ください。 −本システムの電源を「切 / 入」してください。 −接続した機器の電源を「切 / 入」してください。 − HDMI ケーブルを抜き差ししてください。	−
	［DD D］や［AAC］ランプが約 10 秒間点滅して消える。	● ドルビーバーチャルの「入 / 切」操作をしていませんか。 ● 明瞭ボイスの「入 / 切」操作をしていませんか。 ● 二重音声放送の「主音声 / 副音声 / 主音声＋副音声」の切り換え操作をしていませんか。	11 11 下記
音場効果	デジタル放送で二重音声放送の切り換えができない。	● テレビ / レコーダーの音声出力がビットストリーム / Bitstream（AAC）に設定されている場合は、下記の操作で切り換えることができます。 ① リモコンの［BD/DVD］を２秒以上押す。（現在の状態を表示） ② 現在の状態が表示中に（約 10 秒間）［BD/DVD］を再度押す。 ［DD D］ランプが点滅：主音声 ［AAC］ランプが点滅：副音声 ［DD D］ランプと［AAC］ランプが点滅：主音声＋副音声 ● 押すごとに設定が切り換わります。 ● 操作後約 10 秒で通常の表示に戻ります。	−
	テレビの音声が音切れする。	● 音切れする場合、テレビ側の音声出力の設定をビットストリーム（AAC）にしてください。	−
HDMI	HDMI 接続で、始めの数秒間の音声が再生されない。	● DVD をチャプターから再生した場合に起こることがあります。接続した映像機器のデジタル音声出力の設定をビットストリーム設定から PCM 設定にしてください。	−
	正常に動作しない。	● HDMI の入力端子と出力端子を間違えて接続すると、正常に動作しません。一度電源を切り、電源プラグを抜いてから接続し直してください。	10

故障かな！？（つづき）

	こんなときは	ここを処置・確認してください	ページ
HDMI	ビエラリンク（HDMI）が働かなくなった。	● ビエラリンク（HDMI）の効果を切っていませんか。工場出荷設定に戻してください。 ● 接続した機器側のビエラリンク（HDMI）の設定を確認してください。 ● HDMI 機器の接続を変更したときや停電やコンセントの抜き差しをしたときなどにビエラリンク（HDMI）が動作しなくなる場合があります。このときは、以下の操作をしてください。 ・HDMI ケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ（ビエラ）の電源を入れ直す。 ・テレビ（ビエラ）のビエラリンク（HDMI）を働かせる設定を一度「切」にした後、再度入れ直す。詳しくはテレビ（ビエラ）の取扱説明書をご覧ください。 ・テレビ（ビエラ）と本システムを HDMI ケーブルで接続して、テレビ（ビエラ）の電源を入れ、そのまま本システムの電源プラグを一度抜いてから接続し直す。	下記、14 – –
HDMI	設置時はテレビ（ビエラ）が映っていたのに、映らなくなった。	● 本システムとテレビ（ビエラ）のみの組み合わせでご使用の場合、本システムとテレビ（ビエラ）を接続する HDMI ケーブルは、［HDMI 出力 テレビへ（ARC 対応）］端子に接続してください。	10
HDMI	地上デジタル /BS 放送の番組で初めの数秒間の音声が再生されない。	● テレビ（ビエラ）のサウンドモードを "オート" から "スタンダード" に変更してみてください。詳しくはテレビ（ビエラ）の取扱説明書をご覧ください。	–
HDMI	DVD やブルーレイディスクなどマルチチャンネルの音声が入ったソースを再生しても［DD D］ランプや［DTS］ランプが点灯しない。	● ビエラリンク (HDMI) を使用している場合でテレビ（ビエラ）が「音声をテレビから出す」に設定されているときは、「音声をシアター（AV アンプ）から出す」に設定してください。	12、13
HDMI	他社 HDMI 対応機器（テレビや DVD レコーダーなど）との接続時に、動作が不安定になる。	● 下記の操作で、ビエラリンク (HDMI) を使わない設定にします。 ① リモコンの [消音] を押したまま本体の［音量－］を 2 秒以上押したままにする。 ② 本システムのすべてのランプ（[電源 ⏻/I] ランプを除く）が点滅することを確認する。 ③ 設定変更後に、接続しているすべての機器の電源を「入 / 切」する。 – 元に戻すには、工場出荷設定に戻してください。（➜ 14 ページ） – ビエラリンク（HDMI）を使わない設定にすると ARC の機能が働かなくなります。必ず光デジタルケーブルを接続してください。	–

番組連動おまかせエコ（エコモード）

番組ぴったりサウンド（➜ 13 ページ）と連動し、比較的音量変化の少ない番組（ドラマ、バラエティ、ニュースなど）の視聴時に自動的に消費電力を抑えます。

エコモードを使わないときは：

① リモコンの［BD/DVD］を押したまま本体の［音量－］を 2 秒以上押したままにする。

② 本システムのすべてのランプ（[電源 ⏻/I］ランプを除く）が点滅することを確認する。

エコモードを使う設定に戻すには：工場出荷設定に戻す。（➜ 14 ページ）

本システムで再生できるデジタル信号

■ **AAC**
地上デジタル放送や BS 放送など

■ **ドルビーデジタル**
ブルーレイディスクや DVD など

■ **DTS**
ブルーレイディスクや DVD など

■ **LPCM（2チャンネル）**
CD や DVD オーディオなど

■ **LPCM（マルチチャンネル）**
ブルーレイディスクや DVD オーディオなど

お知らせ

ドルビーデジタルや DTS、AAC の信号が入力されると、各ランプが約 4 秒間点灯します。（➜ 3 ページ）

再生中に確認するには：テレビ入力を選択中はリモコンの［テレビ］、BD/DVD 入力を選択中はリモコンの［BD/DVD］を押してください。
入力がないか、もしくは LPCM 信号が入力されている場合は、ランプが点灯しません。

本システムは 3D や x.v.Color（カラー）、Deep Color（ディープ カラー） に対応しています

3D

3D 対応テレビ、3D 対応のブルーレイディスクレコーダー / プレーヤーを本システムに接続して、市販のブルーレイ 3D ディスクなどを迫力ある 3D 映像でお楽しみいただけます。

x.v.Color（カラー）

広色域色空間の国際標準規格「xvYCC」に準拠した製品の名称です。

Deep Color（ディープ カラー）

対応するテレビやレコーダーなどに接続することで、より幅の広いカラーグラデーション（4096 段階）を再生することができます。滑らかで複雑なグラデーションを表現し、縞模様状に見える色の変化を最小限に抑えた、抜群に深みのある、自然に近い色をお楽しみいただけます。

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
マイクを接続したい。	本システムには接続できません。
サラウンドスピーカーを追加して接続できるか。	本システムではできません。
他のアンプやスピーカーを接続できるか。	本システムではできません。

仕様

■ アンプ部

実用最大出力合計値　120 W（非同期駆動、JEITA）

実用最大出力

フロント（L／R）

27 W ＋ 27 W（1 kHz、4 Ω、非同期駆動、JEITA）

サブウーハー

66 W（100 Hz、6 Ω、非同期駆動、JEITA）

負荷インピーダンス

フロント（L／R）　4 Ω

サブウーハー　6 Ω

信号対雑音比（SN 比）

BD/DVD、テレビ　96 dB

入出力端子

デジタル音声入力 **光（テレビ）**	1
映像・音声 **HDMI 入力（BD/DVD）** **HDMI 出力（テレビへ（ARC 対応））**	1 1

本システムは、ビエラリンク Ver.5 に対応しています。

■ ラックシステム部

寸法（幅×高さ×奥行）

1070 mm × 444 mm × 350 mm

質量　約 34.0 kg

耐荷重量

天板　60 kg

棚板、底板　12 kg

■ スピーカーシステム部

フロントスピーカー部（L/R）

1 ウェイ 1 スピーカーシステム（バスレフ型）

6.5 cm コーン型フルレンジ× 2

サブウーハー部

1 ウェイ 2 スピーカーシステム（バスレフ型）

8 cm コーン型ウーハー× 2

■ 総合

電源　AC 100 V、50/60 Hz

消費電力（本体）　55 W

電源スタンバイ時の消費電力　約 0.05 W

■ 動作使用条件

周囲温度　0 ℃～ 40 ℃

相対湿度　20 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

注）

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

―このマークがある場合は―

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 **注意**	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する


電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く
- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）


傷んだまま使用すると、火災·感電·ショートの原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

分解、改造をしない


分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

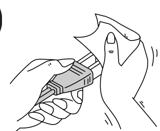
内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない


ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

使い切ったコイン電池は、すぐにリモコンから取り出す


そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

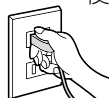
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない


ぬれ手禁止

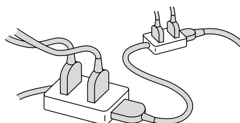
感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む


差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ·ゆるんだコンセントは、使わないでください。

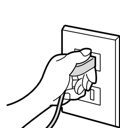
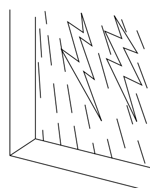


コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない


接触禁止

感電の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

 警告

コイン電池は誤った使いかたをしない



- **指定以外の電池を使わない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない。**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。
万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。
液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。
目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

テレビは転倒防止の処置をする



地震やお子様がよじ登ったり、背面よりもたれたりすると、転倒しけがの原因になります。
- 安全のため、必ずキャスター座を取り付け、転倒防止ベルトでテレビとラックを固定してください。
- テレビは、壁にも固定してください。

テレビはラック天板の中央に設置する



ラック天板の前面、後面よりはみ出して設置すると、落ちたりしてけがの原因になります。

回転機能付の据置スタンド搭載のテレビ使用時は、回転範囲内に手や物を置かない



指をはさんでけがの原因になります。
- 特にお子様にはご注意ください。

回転機能付の据置スタンド搭載のテレビ使用時は、テレビが壁に当たらないようにラックを壁から離して設置する



指をはさんでけがの原因になります。
- 特にお子様にはご注意ください。

コイン電池、転倒防止ねじは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

設置したテレビがはみ出した場合、当たらないようにする



倒れたり、破損してけがの原因になります。

ぐらつきが発生した場合は、本体固定ねじを締めなおす



ぐらつきがあると、テレビが倒れたり落下して、けがの原因になることがあります。

 注意

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ラックの上に乗ったり、座ったりしない



落ちたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

長期間使わないときは、リモコンからコイン電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

キャスター（車）には注油しない



キャスター（車）のひび割れ、破損の原因となり、倒れたり破損してけがの原因になることがあります。

万一、ラックに変形・ひび割れ・割れが起こった場合は、使用しない



そのまま使用すると倒れたり、破損してけがの原因になることがあります。

- すぐに販売店へご連絡ください。

テレビは片寄った載せかたをしない



倒れたり、破損してけがの原因になることがあります。

ラックの設置時には、指をはさまれないように注意する


指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

キャスター付きラックを移動するときは、キャスター座を取り外す



キャスター座を取り付けたまま移動すると、倒れたり、破損してけがの原因になることがあります。

- 段差のあるところやじゅうたんなどの柔らかいところでは、特にご注意ください。
- キャスター座の取り外しは、必ず本文の説明に従って行ってください。

ラックの上に時計等の磁気の影響を受けやすいものを置かない



正常に動作しなくなる場合があります。

スピーカーは内蔵のものを使用する



内蔵以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

天板・棚板・底板には指定した質量以上の機器を載せない



ラックに載せられる質量を超えて長期間使用されますと、破損してけがの原因となることがあります。

- 天板には 60 kg、棚板、底板ともに 12 kg を超える機器を載せないでください。
- 天板には、テレビ以外の物を置かないでください。

不安定な場所に置かない



高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

設置や移動、キャスター座の取り付けは２人以上で行う



１人で無理に行うと、腰を痛めたり、けがの原因になることがあります。

- キャスター座の取り付けは、必ず本文の説明に従って行ってください。

ラックを搬送したり、キャスターを取り外してラックを移動するときは、必ず指定された部分を持って行う



指定された部分以外を持って移動すると、けがの原因になることがあります。

- 持ちかたについては、必ず本文の説明に従って行ってください。

ラックの移動や設置時に、ラック下部の透き間内に足先を入れない



けがの原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れ　などは

■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　　－
お買い上げ日	年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「故障かな !?」（➜ 14 ～ 16 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- ● 製品名　ホームシアターオーディオシステム
- ● 品　番　SC-HTF5
- ● 故障の状況　できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代　部品および補助材料代
- 出張料　技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** 8 年

当社は、このホームシアターオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ **転居や贈答品などでお困りの場合は、** 次の窓口にご相談ください

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

http://panasonic.jp/support/

● **修理に関するご相談は**………………

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

● **使いかた・お手入れなどのご相談は**………………………………

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札 幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高 山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三 重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 0510

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

 http://club.panasonic.jp/

 http://mobile.club.panasonic.jp/



※このサービスは WEB 限定のサービスです。

愛情点検

長年ご使用のホームシアターオーディオシステムの点検を！



こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 音声が出ないことがある ● 内部に水や異物が入った ● 本体に変形や破損した部分がある ● その他の異常や故障がある



ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　　）　－	品番	SC-HTF5
お客様ご相談窓口	☎（　　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

VQT2Z25-2
H0610RT2011